

事業概要

Society5.0をリードし、SDGsの達成を牽引するイノベーティブなグローバル人材育成のリーディング・プロジェクトとして、国内外の大 学等との連携により文理横断的な知を結集し、社会課題の解決に向けた探究的な学びを通じた高校教育改革や大学の学びの先取り 履修等を通じた高大接続改革を推進する。

- ◆ 高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等とが協働し、高校生が主体となり、海外をフィールドにグローバルな社会課題の解決に向けた探究的な学びを実現するカリキュラムを開発。
- ◆ これまで訪問できなかった国の高校生や大学生等とのオンライン海外フィールドワークなど、世界規模で生じた豊かなオンライン環境を駆使したカリキュラム開発。
- ◆ 大学等と連携した大学教育の先取り履修（カリキュラム開発）により、高度かつ多様な科目等の学習プログラム／コースを開発。
- ◆ コロナ禍の影響で限定的となった、海外の連携校等への短期・長期留学、海外研修や、海外の連携校等からの外国人留学生と日本人高校生とが一緒に履修する英語等による授業、探究活動等を重点的に実施。
- ◆ 学習を希望する高校生へ高度な学びを提供するため、拠点校間及び関係機関との連携の上、個別最適な学習環境を構築。
- ◆ イノベーティブなグローバル人材育成に関心のある高校がグローバルな課題探究成果を共有するためのミニフォーラムの開催。

AL（アドバンスト・ラーニング）ネットワーク イメージ図

ALネットワーク

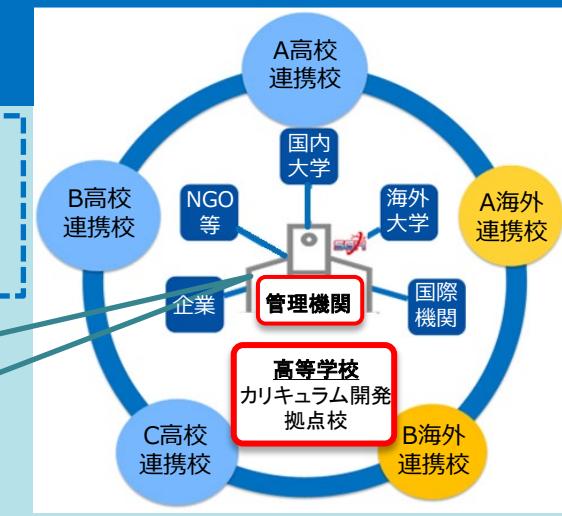
海外フィールドワークや国際会議の開催等により、プロジェクトが効果的に機能するよう国内外の連携機関とのネットワークを形成

管理機関

高等学校と連携機関をつなぎ、カリキュラムを研究開発する人材（カリキュラム・アドバイザー）等の配置

WWLコンソーシアム

高校や国の枠を超えて、高校生に高度な学びを提供するAL（アドバンスト・ラーニング）ネットワークを形成した拠点校を全国に50校程度配置し、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築へつなげる。



対象
校種

国公私立の高等学校及び中高一貫教育校

箇所数
単価
期間

○カリキュラム開発：8拠点（継続8）
790万円程度／拠点・年、原則3年

○グローバル人材育成の強化：10拠点（新規10）
600万円程度/拠点・年、原則3年
①アウトバウンド型（海外留学等を重点的に実施）
②インバウンド型（留学生受入等を重点的に実施）

○個別最適な学習環境の構築：4拠点（新規1、継続3）
新規校 660万円程度／拠点・年、原則3年

委託先

管理機関（都道府県・市町村教育委員会、
国公立大学法人、学校法人）等

委託
対象経費

○カリキュラム開発に必要な経費
(海外研修旅費、謝金、借損料、国際会議経費等)

○グローバル人材育成の強化に必要な経費
(海外連携校との調整に必要な経費、英語等による授業の実施に必要な経費等)

○個別最適な学習環境の構築に必要な経費
(連携交渉旅費、謝金、ウェブサイト構築経費、委員会経費等)